第５回 宮崎市自転車活用推進計画推進委員会

日　時：令和５年１２月１８日（月）１５：００～１６：３０
場　所：宮崎市役所第４庁舎 ９階会議室
出席者：別添のとおり

〇第５回 宮崎市自転車活用推進計画推進委員会を開催したので報告する。

〇本年度は計画の中間見直しを行うこととしており、今回、中間見直し（案）について委員の皆様から意見等を伺った。

【協議事項】
（１）今回の中間見直しについて
（２）第４回委員会における意見等
　　１）大評価指標（目標値）の見直し
　　２）中評価指標（目標値）の追加
　　３）小評価指標（個別施策）の評価・再構築
（３）中間見直し（案）
（４）今後のスケジュール

【配布資料】※ペーパーレスのためタブレットへ表示
■資料１　自転車活用推進計画推進委員会資料
■資料２　宮崎市自転車活用推進計画（R5 中間見直し）

＜　議事録　＞

〇事務局より、資料１に沿った説明(別紙参照)を行った。委員より頂いた意見・質疑は以下の通り。

■資料１　自転車活用推進計画推進委員会資料

【意見及び質疑】

〇 委員

中央通りのパチンコ店駐輪場がなくなる件について、対策等はあるか

〇 事務局(駐輪施策担当課)

今年度(R5)、駐輪場の利用実態調査を行っており、調査結果を踏まえ、来年度(R6)、自転車等駐車場整備計画の中間見直しを行う予定(当該店舗駐輪場の一部を借りて市営としている、その部分の実態調査も含む)

〇 委員

仙台、大阪などの大都市等だと、路上駐輪に特化した施設を設置して行っている状況。宮崎市でも駐車場の管理事業者や民間事業者などが自転車に特化した施設を作っていってもいいと思う。

○ 事務局(駐輪施策担当課)

現在、市営駐輪場の利用率は減ってきており、放置自転車も 10 年前と比較して中心市街地で 60%以上、市内でも 44%減少している。自転車保有台数も前年度比で 15%減少している。これらが減少してきている中で、今後は駐輪場設置や施策を考える必要があると考えている。路上は活用しやすいが、管理や対策が難しく、今後の施策内で対策を強化していかなければいけないと考えている。

○ 委員

高千穂通りの派出署の近くに駐輪場があったが、今は停めないようにと書いてある。現在も数台停まっているが今は停められないのか。また路上にも停められるようにはできないのか。

○ 事務局(駐輪施策担当課)

当該箇所は路上なので、現在は駐輪できない。また高千穂通りは全て路上駐輪は禁止である。

○ 委員

自転車分担率が減少しているが、宮崎の街づくりの実態はどうなっているのか。資料に挙がっている静岡市や高松市などの環境は宮崎市と似ていて、自転車利用に適していると感じる。少子高齢化で学生の数が減り、そういう状況の中でどんな自転車の活用をイメージして、宮崎市のまちづくりを進めていくのか。

○ 事務局

本市は自転車利用に適した環境であることから、本計画を策定し分担率の向上に繋がる施策を実施している。分担率は国勢調査によるもので、15 歳以上の通勤通学者の自転車利用割合だが、市独自のアンケートでは買い物などの利用割合が一番高くなっていることから、大評価指標を分担率としていることについて、若干懸念はある。いずれにしても、本市としては、今後も引き続き自転車利用を広げていきたい。

○ 委員

自転車の活用でイメージされるのは橘通周辺だと思うが、駐輪場によっては停めづらかったり、２階へ上げないといけない、狭く感じるところもある。こういうところを整備していかないと、活用推進は厳しいものがあると思う。また自転車ブームということで利用される方も多いと思うが、そういった方の自転車は高価だったり、例えば高齢の方は電動自転車だったりする中で、現在の駐輪場環境では駐輪し辛い。その点も考慮しながら、自転車を活用できる流れを築いてもらいたい。

○ 委員

交通事故の件数を見ているが、昨年度よりも増えてきている状況。８月頃から増加傾向にあり、コロナ禍と比較すると更に増えていくのではないか。愛媛県の松山市に聞いたが、高校生がヘルメット着用率を上げている。宮崎市は高校生は被っておらず、そういったところの改善が必要。

○ 委員

宮崎だけではないが、夏季の気温が上がっており、その影響もあって分担率に影響が出ているのではないか。

○ 事務局

現時点では、気温による利用率の変動などが確認できる資料を持ち合わせておらず、今後分析できるデータを収集して確認していく。

○ 委員

ヘルメット着用に関して、被っていないから大事故になったと言う件も聞く。量販店などでも安く入手できるようにはなってきているが、他県のように購入補助金を出すなどして着用率をあげるよう検討していただきたい。

○ 委員

モビリティに関して、JR などと自転車を関連付けていく施策は考えているか。

○ 事務局

サイクルトレインなど事例はあるが、予算的な問題で日常的にやっていくのは現状厳しいのではないか。現段階ではイベント等に合わせて実施するイメージ。

○ 委員

来年三月にサイクルトレインを利用したイベントを企画しており、宮崎神宮駅から高原まで運び、町内でサイクリングイベントを行う。二両編成で、60 人ほどで開催予定。ハードルは高いが、実績をこつこつ積み重ねて、ローカル線などを活用していきたいと考えている。

○ 委員

買い物などで自転車を乗りたくても、道路事情が一番肝心。車が横を通ると非常に怖いし、クルマ側からも怖い。道路整備も一緒に進めていくべき。

○ 事務局

現状の道路の中で自転車の通行空間を作っていくのはなかなか難しいが、自転車が安全に走れる幅員などを確保するため、道路整備を進めている状況。しかし整備の進んでいない道路も多く、自転車が走る空間がないため、危ない、怖いというようなご意見はあるかとは思う。そういった場所に関しては、走行ルールの啓発などを行い、改善していく。